

第七十六回
貴族院

健康保険法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和十六年二月十九日(水曜日)午後一時
三十八分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ開會致シマス、労働者年金保険法案ニ對スル御質問ヲ願ヒマス

○田所美治君 一向素人デ分ラヌ所ヲ伺ヒマスガ、労働者年金保険法ハ、労働者一般ニ對シテノ保険法ヲ御制定ニナルト云フ譯ニアリマスガ、是レ迄丁度ニ類似シテ居ルノハ船員保険法デスネ、ソレカラマア今度ノ健康保険法モ稍、斯ウ云フモノニ類シタコトト、斯ウ云フ譯ナシアリマス、マア官吏ノ恩給法ニモ當ルト斯ウ云フ譯ニアリマスガ、是等ハ一緒ニ立法ガ出來ヌモノデアリマシタラウカト、斯ウマア形式ヲ一ツ伺ッテ見ヨウト思ヒマス、船員保険法トノ實施ノ成績ハドウデアッカト、斯ウ伺ッテ見タウゴザイマス、船員保険法ハウマク行ッテ居リマスカ、是ハ實行サレテ居ルダラウト思ヒマスガ、先づ之ヲ伺ッテ見タイト

○政府委員(川村秀文君) 船員保険法ト本保険法トハ療養ニ關スル給付ヲ致シマス點ニ於テ共通ヲ致シテ居リマス、船員ノ方ハ從來健康保険ノ制度ガ設ケラレテ居リマス

セヌ、船員保険ニ於テ療養給付ト疾病ニ對スル給付ト一緒ニ支給スルヤウニナッテ居リマス、船員ニ付キマシテハ船員法ト云フモノガアリマシテ、乗船中ノ諸病ニ對シマシテハ、大體ニ於テ船中ニ療養其ノ他ノ義務ヲ負ハシテ居リマス、而シテ此ノ保険ニ於テハ其ノ船主ノ義務ヲ行ヒマシタ後ヲ引受ケテ保険ノ方デ支給ヲスルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其ノ邊ガ陸上ノ一般ノ労働者ト非常ニ事情ヲ異ニ致シテ居リマスノデ、簡單ニ制度ヲ一緒ニスルト云フコトガ技術上困難デアリマス、又船員モ海運業ノ我ガ國現下ノ重要性ニ鑑ミマシテ、特ニ本案ノ制度ヲ急イデ設ケナケレバナラスト云フヤウナコトモアリマシテ、特ニ急イデ此ノ點ダケヲ別ニ制度ヲ設ケマシタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ健康保険トノ關係デアリマスガ、健健康保険ハ疾病、傷病ト云フヤウナコトヲ含シダ保険タル所謂短期計算ノ保険ノ制度デアリマシテ、一年毎ニ必要ナ保険料ヲ集メ、必要ナ費用ヲ拂ッテ行クト云フヤリ方ノモノデアリマス、所ガ年金保険ノ制度ハ、所謂長期計算ノ保険デアリマシテ、長期間ニ亘ル計算ヲシテ行クモノデアリマスカラ、保険ノ仕組ガ全ク異ッテ居リマス、ノミナラズ今回ノ案ニ依テ御覽ノ通リニ、適用範囲モ健康保険トハ多少異ッテ居リマス、又前會ニ保険院長官カ

ス、政府ダケデ一本デヤルト云フコトニナッテ居リマス、所ガ健康保険ハ或程度自治的複ト力何トカ云フコトハ避ケル必要ハアリニ、大キナ工場 鎌山ニ於キマシテハ組合ヲ作ッテ、事業ヲ經營スルコトヲ認メテ居リマス、其ノ邊ガ全ク組立モ達テ居リマスノ、大キナ工場 鎌山ニ於キマシテハ組合ニ、大キナ工場 鎌山ニ於キマシテハ組合定ノ總則ノ所ヲ見マシテモ、大體ノ原則ハ同ジヤウニナッテ居リマスカラ、其ノ邊ノ重複ト力何トカ云フコトハ避ケル必要ハアリマスマイト思ヒマスケレドモ、チヨット私ハ、是ハ早晚一ツニナルベキモノダトスウ思ハレルノデアリマスガ、無論一時ノモノト、年金ノ恩給ミタイナモノトハ違ヒマスデゴザイマス、尤モ法典ヲ唯一緒ニシテ、ト云フヤウナコトハ出來ルノデアリマスケレドモ、ソレハ唯法典ヲ一ツニシタト云フダケデ、實體ハ全ク別ノモノニナルト云フ譯ニアリマス、將來社會保険ノ整理統合ト云フヤウナコトヲ研究致シテ居リマスノデ、或ハ其ノ結果法典ヲ將來統一シヨウト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、何處迄行キマシテモ、此ノ健康保険ト年金保険ハ中身ハ別箇ノモノトシテ發達スルモノト思ツテ居リマス

○田所美治君 サウ云フ仕組デ此ノ三ツ法律ガ出來テ居リマスカラ、ソレヲ本ニシテ居ルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ疾病、負傷ニ付テ、船員ノ船中ニ於ケルマスガ、進ンデ伺ヒマスノハ、是ハ工業關係ノ方ノ勞務者、主ニ労働者デアッテ、農業或ハ商事關係、商業ノ方ハ入リマセヌト云フヤウニ見エマスガ、サウ諒解シテ宜シウゴザイマスカ、百姓ト丁稚小僧ノ類ハ入ラスト、サウ云フ譯ニアリマスカ、外國ノ立法ノ參考書ヲ拜見スルト、農商工皆入ラ居ルヤウデアリマスガ、其ノ邊ノ御教ヘヲ願ヒマス

○政府委員(樋貝詮三君) 大體只今ノ御意見ノ通りデアリマシテ、是ハ工業方面ヲ考ヘテ居リマス、農業方面ニ付キマシテハ是モ考ヘナケレバハイカスト思ヒマスガ、無論此ノ案デハソレヲ主ニ考ヘテハ居リマセヌモデ、入レバ入レ得ル途ハ十六條アタリ

セヌ、農業方面ニハ御承知ノ通りニ、勞働者ト申シマシテモ、中間的ナツノ企業者立場ヲ取ツテ居ル勞働者ガ非常ニ多いノデ、具體的ニ申セバ、小作ヲヤッテ居ル、小サイ小作ヲヤッテ居ルト云フヤウナ者ガ割合ニ多いノデ、純然タル勞働ダケヲ以テ生活ヲシテ居ルト云フ、地方ニ於ケル作男ト云フヤウナ者ハアリマスケレドモ、農業者トシテ考ヘル時ニハ、矢張リ小作人、一ツノ企業者ヂヤアリマスマイガ、主トシテ勞働ヲ中心ニシテ生活ヲシテ居ルト云フヤウナ、サウ云フ者ヲ考ヘナケレバ無意味ダラモ、其ノ小サイ者ニ至リマスト、是モ五十歩百歩ノモノデアリマス、ソレハ皆一括シテ考ヘナケレバナラヌト思ジテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ、是ハ餘程技術的ニハムツカシイ、色々ニ點ニ考ヲ凝サナケレバイカナイモノデアリマシテ、纏テハサウ云フ所迄考ヘナケレバイカヌノデアリマスケレドモ、差當リ到底間ニ合ハナイ、又モウ一次今日ノ急務ト申セバ、心理的影響、又其掛金ガ、今日ノ金ノ散在スルコトニ對スル原因ヲ持ツ歩合、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、工場方面ハ非常ニ急ヲ要スルト云フコトデ、先づ之ニ手ヲ著ケテ來タト云フコトデアリマシテ、此ノ法案デハ農業者ヲ對象トシテ居ルトハ申セナインデアリマス、ソレカラ商業ナンカノ方面モ、是モ一應抜いて居リマスノデ、健康保險法ニ考ヘテ居ル工場、事業場ト申シマスト、大體ニ於テハ次第デアリマス、順次ソレ等ノ他ノモノニ參ツテ今度此ノ法律案ヲ編成致シタヤウナ

○田所美治君 サウスルト、政府モ、農ニ付テモ、商ニ付テモ、矢張リスウ云フ福利施設ハ考ヘル必要ガアル、斯ウニ及ボス研究ヲ一ツシテ見ル、研究デヤナイ、是ハオヤリニナラストトイカヌカモ知レヌト思フノデアリマス、私共知ツテ居ル範圍ノ商事會社關係ニ於キマシテモ、今ドウシテ居ルカト言ヘバ、商事會社デハ積立金ヲ作りマシテ、マア若干ノコトヲヤッテ居ルノデアリマスガ、逆モコンナ整備シタ年金保險法ノヤウニ潤澤ナ所迄ハ行シテ居ラス、無論今日石炭其ノ他ノ鑛業關係ノモノハ一番急務デアリマセウ、機械工業其ノ他ノ工業ガ第一ニナリマセウケレドモ、是ハ近ク矢張リ御考ヘラ願ヘヌトイクマイカト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、併シ政府委員ノ御説明デ大體ノ考ヘハ私ト同ジヤウナコトニ了承致シマシタ、官吏ノ恩給法トドノ位ノ差異ガ是ハアリマスカ、百分ノ二十五ト云フト矢張リ四分ノ一ニナックテ居リマスガ、官吏ハ十七年ニナッテ居リマスガ、ソレガ二十年ニナッテ居ル、鑛山ノ方ハ十五年デスカ、色々ナッテ居リマスガ、大體官吏ニ準ジタイ、斯ウ承知シテ居ツテ宜シウゴザイマスカ

ニ大體一致シテ居ルト申上ガテ宜シト思ヒマス、年數ガ當時ハ官吏ニ於テハ十五年デアリマシテ、四分ノ一カラ「スタート」シテ行クヤウニナツテ居リマシタ、ソレカラ特殊ノ、純然タル官吏ト云フ譯デハアリマセヌガ、官吏ニ準ズル巡查トカ、看守トカ云フモノハ當時ハ十年デ、矢張リ大體四分ノ一見當ノ所カラ進ンデ居リマス、軍人モ同様デアリマスガ、十一年、今日ハ十二年ニナツテ居リマスガ、サウ云フモノガ七ツ、八ツアリマシタガ、一般官吏ガ十五年デ、四分ノ一デ「スター」致シマシタ、其ノ後一年ヲ加ヘル毎ニ二百四十分ノ一ツ加算ヲシテ行クト云フコトニナツテ居リマス、今回ノハ二十年ヲ原則トシ、鑛山ハ十五年デ、四分ノ一デ「スター」シテ參リマシテ、後百分ノ一ツ加ヘテ行クト云フコトニナツテ居リマス、大體最高限ヲ俸給ノ半分ト云フ所デ止ヌル、今日官吏ノ方ハ半分ヨリ落チマスガ、ソコデ止メルト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ點モ凡ソ同ジコトニナツテ居リマスシ、ソレカラ又給與ノ種類モ大體官吏ノ恩給ニ一致致シテ居リマス、年數ヲ經テ居廢メルナリ、廢疾ニナツタヤウナ場合ニハソレニ終身年金ヲヤル、サウ云フヤウナ者ガ死ンダ場合ニハ官吏デハ遺族ニ矢張リ扶助料ヲヤル、是ハ遺族年金ト申シマスガ、サウ云フモノヲヤルト云フヤウナ點、ソレカラソレ迄ニナラズニ廢メタ場合ニハ一時金ヲヤル點モ、官吏ノ途中デ廢メタ場合ニ該當致シマスシ、廢疾ノ場合ナドニ於キマシテハ、特ニ廢疾ノ年金ヲヤル點ハ官吏ノ増加恩給ナドニ似テ居リマス、ソレ等ノ點ガ略々官吏ノ恩給ヲ大體映シタルモノニナツテ居リ

スルノニ該當致シテ居リマス、唯違フ所ハ官吏ナドノ恩給ノ方ハ國ノ官吏デアル爲ニ、全部ヲ國費カラ出シテ居リマスガ、又地方ノ公務員ナドニ付テハ、地方カラ全部出シテ居リマスガ、今度ノ此ノ年金ハ事業主ノ方カラモ出シ、又之ニ對シテ國ガ補助ヲスルト云フコトヲ致シテ居ルヤウナ點ガ多少ノ相違ガアリマスケレドモ、大體ノ仕組ハ官吏恩給ト同ジニ考ヘテ頂ケバ宜イト思ヒマス

○田所美治君 今事業主モ負擔スルト云フ御話ガアリマシタガ、ソレニ付テ一寸伺ヒタイ、健康保険ノ方デモ今度ママ半分ヲ負擔シナケレバナラヌ、ソレカラ年金保険法デモ負擔ヲ背負ハサレル、斯ウ云フコトニナリマスガ、尤モ其ノ便法トシテ報酬カラ差引クト云フヤウナコトニ確カナッテ居リマスガ、其ノ負擔ニ事業主ハ堪ヘラレヌト云フ御心配ハアリマスマイカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ又今ハ工業ハ殷賑ナ時代デスカラ、宜シウゴザイマスガ、途中デ不景氣ガ來ルト工場ハ大キナ澤山ノ勞働者ヲ有ツテ居ル所程困ルノデ、矢張リ「デフレーション」ガ来マシタ時分ニハ、負擔シ切レヌト云フヤウナ場合ガ直グニ想像サレルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テ前ノ世界戦争ノ後ノ、不景氣ナドヲ考ヘマスト、事業主ガ負擔出來ヌト云フヤウナ場合ヲ御想像ニナッテ居リマスカ、斯ウ云フ點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(樺貝詮三君) 結論ヲ申上ゲマスレバ、負擔ニ堪へ得ルト云フ考デアリマス、ソレデ其ノ點初々カラ非常ニ注意ヲ拂ヒマシタ所ヲ、今回ノ此ノ案デモ勞働者ヲ

平常十人以上使ウテ居ルモノト云フノヲ標準ニ致シマシテ、ソコダケニ強制的ニヤラセルト云フコトニ致シマシタノモ、ソレ等ノ點モ多分ニ考ヘテアルノデアリマス、健康保険ハ五人以上使ツテ居ルモノヲ對象ト致シテ居リマシタノデスガ、是ハ長ク掛ツテ掛金モシテ行クト云フヤウナ關係、健康保険ヨリカモモウ少シ長目ニシテ、事業主ノ負擔ト云フコトモ考ヘナケレバ、バイカヌト思ヒマシタモノデスカラ、一應十人ト云フヤウナ健康保険ヨリモ倍ニナリマスケレドモ、其ノ人數以上ヲ使ツテ居ルモノニ此ノ義務ヲ負擔サセルト云フコトニ致シマシテ、斯ウ云フ風ニ致シマシタノモ、ソレ等ノ點ヲ考慮シタ結果デアリマス、ソレデ負擔ハ事業主ニ對シテ酷デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ、此ノ労働者ノ年金法ガ出來マスト、是ハ労働者ノ方面ニ於ケル考ヘ方ガ餘程違フヤウデアリマシテ、私等ガ此ノ案ヲ編ミマス當時ニ、私ガ内部部實ハ考ヘテ居ツタ以上ニ事實ハ労働者方面ガ之ヲ期待致シテ非常ニ喜ンデ居リマシテ、我等ノ仕事ヲ國家的ニ認メラレタ、自分等モ單純ニ自己ノ利潤追求、或ハ資本家ノ爲著ケテ居リマス、デ尙ソレニ付キマシテモ、先程申上げタヤウニ十人以上使ツテ居ルモノダケニ止メテ置カウト一應致シマシタノモ、小サイ負擔デアルケレドモ、尙ソレニ考慮ア加ヘタイト云フヤウナコトデアリマスカラ、少クモ此ノ事變が續イテ居ル内、或ハ事變後ニ於テハ、恐ラク好景氣時代モ参リマセウシ、ソレ等ニ付テハ全然心配スカラベキモノガナイ、寧ロ之ニ依ツテ得ル所ノモノガ事業主ニ付テモ多カラウト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○田所義治君 實際ノ問題トシマシテハ此ノ世界戰争後ニ續キマシタ十數年間ノ不景氣ト云フモノハ、殊ニ其ノ後ノ十年間位デモノガアリ、尙之ニ依ツテ労働者ノ足ヲ長ク留メルト云フコトガ相當出來テ參リマスカラ、コ、暫クノ間、少クトモ事變ノ繼續致シマスヤウナ間ニ於キマシテハ、事業家ノ方ニ遙カニ利益ガ多イト云フコトハ考ヘ得ルト思フノデアリマス、デスウ云フヤウナ事變デモ濟ミマシタ後ニ、事業ガ若シ假ニ下火ニナルヤウナコトガ假令アツト致シマシテ、サウ云フ時ニドウカト云フノデスガ、大體此ノ程度ノ當時十人以上ヲ有ツテ居ル、人ヲ使ツテ居ルト云フヤウナ工場主等デアリマシタナラバ、今度ノ負擔ガ給料一圓ニ付キ三錢チヨット位、給料ハ大體事業費ノ十分ノ一デ、大體事業費ノ一割位ガ給料ニナリマスシ、ソレカラソレノ百分ノ三チヨット位ガ事業主ノ負擔ニナリマスカラ、サウシテ見ルト、全體ノ事業主ニ對シテ此ノ負擔ト云フモノハ千分ノ三・一位ナ負擔ニナルニ過ギナインデゴザイマスカラ、先づ其ノ事業主ガ堪ヘルカ、堪ヘスカト云フヤウナ所迄考ヘナクテモ宜カラウト云フ風ナ見込ヲ考ヘ方ガ餘程違フヤウデアリマシテ、私等ガ此ノ案ヲ編ミマス當時ニ、私ガ内部部實ハ考ヘテ居ツタ以上ニ事實ハ労働者方面ガ之ヲ期待致シテ非常ニ喜ンデ居リマシテ、我等ノ仕事ヲ國家的ニ認メラレタ、自分等モ單純ニ自己ノ利潤追求、或ハ資本家ノ爲著ケテ居リマス、デ尙ソレニ付キマシテモ、先程申上げタヤウニ十人以上使ツテ居ルモノダケニ止メテ置カウト一應致シマシタノモ、小サイ負擔デアルケレドモ、尙ソレニ考慮ア加ヘタイト云フヤウナコトデアリマスカラ、少クモ此ノ事變が續イテ居ル内、或ハ事變後ニ於テハ、恐ラク好景氣時代モ参リマセウシ、ソレ等ニ付テハ全然心配スカラベキモノガナイ、寧ロ之ニ依ツテ得ル所ノモノガ事業主ニ付テモ多カラウト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○政府委員(樋貝謹三君) 御尤モナ御心配デゴザイマスガ、實ハ若シ不況ノヤウナ状態ガ參リマシテ、今御舉ゲニナリマシタヤウナ或事業ガヤツテ行ケナイト云フヤウナコトニナリハシナイカ、其ノ時ニ政府ハドウスナレバナル程サウ云フ場合ニ、出セナクナッタト云フ場合ニ、何カ是ヘ法律上ノ規定ヲ御設ケニナツテ置カヌト云フト、忽チ御困リニナリハシナイカ、其ノ時ニ政府ハドウスルトカ、或ハ給付ノ額ヲ減ズルトカ、百分ノ二ガ百分ノ一ノ掛金ニナル、ナツテ來レバドウスルカト云フヤウナコトヲ御考ニナルカ、政府ガ或ハ其ノ業務ノ如何ニ依ツテハ補填シテヤルト云フ御考ガアリマセウカ、其ノ場合はハ是ヘ改正モ、一部ノ改正ヲヤシヲ喰ッタノデス、借金々々デ行キマシンレラ喰ッタノデス、借金々々デ行キマシテ、遂ニ破産スル工業ガ澤山出來タ、著シケレドモ、サウ樂觀ハ出來スト思フノデス、

イ例ハ造船ノ事業、大造船會社ノ川崎トカ云フ所ヲ初メトシマシテ、銀行迄ソレガ爲ニ非常ナ影響ヲ蒙ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ事變デモ濟ミマシタ後ニ、事業ガ若シ假ニ下火ニナルヤウナコトガ假令アツト致シマシテ、サウ云フ時ニドウカト云フノデスガ、大體此ノ程度ノ當時十人以上ヲ有ツテ居ル、人ヲ使ツテ居ルト云フヤウナ工場主等デアリマシタナラバ、今度ノ負擔ガ給料一圓ニ付キ三錢チヨット位、給料ハ大體事業費ノ十分ノ一デ、大體事業費ノ一割位ガ給料ニナリマスシ、ソレカラソレノ百分ノ三チヨット位ガ事業主ノ負担ニナリマスカラ、サウシテ見ルト、全體ノ事業主ニ對シテ此ノ負担ト云フモノハ千分ノ三・一位ナ負担ニナルニ過ギナインデゴザイマスカラ、先づ其ノ事業主ガ堪ヘルカ、堪ヘスカト云フヤウナ所迄考ヘナクテモ宜カラウト云フ風ナ見込ヲ考ヘ方ガ餘程違フヤウデアリマシテ、私等ガ此ノ案ヲ編ミマス當時ニ、私ガ内部部實ハ考ヘテ居ツタ以上ニ事實ハ労働者方面ガ之ヲ期待致シテ非常ニ喜ンデ居リマシテ、我等ノ仕事ヲ國家的ニ認メラレタ、自分等モ單純ニ自己ノ利潤追求、或ハ資本家ノ爲著ケテ居リマス、デ尙ソレニ付キマシテモ、先程申上げタヤウニ十人以上使ツテ居ルモノダケニ止メテ置カウト一應致シマシタノモ、小サイ負擔デアルケレドモ、尙ソレニ考慮ア加ヘタイト云フヤウナコトデアリマスカラ、少クモ此ノ事變が續イテ居ル内、或ハ事變後ニ於テハ、恐ラク好景氣時代モ参リマセウシ、ソレ等ニ付テハ全然心配スカラベキモノガナイ、寧ロ之ニ依ツテ得ル所ノモノガ事業主ニ付テモ多カラウト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○田所義治君 實際ノ問題トシマシテハ此ノ世界戰争後ニ續キマシタ十數年間ノ不景氣ト云フモノハ、殊ニ其ノ後ノ十年間位デモノガアリ、尙之ニ依ツテ労働者ノ足ヲ長ク留メルト云フコトガ相當出來テ參リマスカラ、コ、暫クノ間、少クトモ事變ノ繼續致シマスヤウナ間ニ於キマシテハ、事業家ノ方ニ遙カニ利益ガ多イト云フコトハ考ヘ得ルト思フノデアリマス、デスウ云フヤウナ事變デモ濟ミマシタ後ニ、事業ガ若シ假ニ下火ニナルヤウナコトガ假令アツト致シマシテ、サウ云フ時ニドウカト云フノデスガ、大體此ノ程度ノ當時十人以上ヲ有ツテ居ル、人ヲ使ツテ居ルト云フヤウナ工場主等デアリマシタナラバ、今度ノ負擔ガ給料一圓ニ付キ三錢チヨット位、給料ハ大體事業費ノ十分ノ一デ、大體事業費ノ一割位ガ給料ニナリマスシ、ソレカラソレノ百分ノ三チヨット位ガ事業主ノ負担ニナリマスカラ、サウシテ見ルト、全體ノ事業主ニ對シテ此ノ負担ト云フモノハ千分ノ三・一位ナ負担ニナルニ過ギナインデゴザイマスカラ、先づ其ノ事業主ガ堪ヘルカ、堪ヘスカト云フヤウナ所迄考ヘナクテモ宜カラウト云フ風ナ見込ヲ考ヘ方ガ餘程違フヤウデアリマシテ、私等ガ此ノ案ヲ編ミマス當時ニ、私ガ内部部實ハ考ヘテ居ツタ以上ニ事實ハ労働者方面ガ之ヲ期待致シテ非常ニ喜ンデ居リマシテ、我等ノ仕事ヲ國家的ニ認メラレタ、自分等モ單純ニ自己ノ利潤追求、或ハ資本家ノ爲著ケテ居リマス、デ尙ソレニ付キマシテモ、先程申上げタヤウニ十人以上使ツテ居ルモノダケニ止メテ置カウト一應致シマシタノモ、小サイ負擔デアルケレドモ、尙ソレニ考慮ア加ヘタイト云フヤウナコトデアリマスカラ、少クモ此ノ事變が續イテ居ル内、或ハ事變後ニ於テハ、恐ラク好景氣時代モ参リマセウシ、ソレ等ニ付テハ全然心配スカラベキモノガナイ、寧ロ之ニ依ツテ得ル所ノモノガ事業主ニ付テモ多カラウト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○政府委員(樋貝謹三君) 御尤モナ御心配デゴザイマスガ、實ハ若シ不況ノヤウナ状態ガ參リマシテ、今御舉ゲニナリマシタヤウナ或事業ガヤツテ行ケナイト云フヤウナコトニナリハシナイカ、其ノ時ニ政府ハドウスナレバナル程サウ云フ場合ニ、出セナクナッタト云フ場合ニ、何カ是ヘ法律上ノ規定ヲ御設ケニナツテ置カヌト云フト、忽チ御困リニナリハシナイカ、其ノ時ニ政府ハドウスルトカ、或ハ給付ノ額ヲ減ズルトカ、百分ノ二ガ百分ノ一ノ掛金ニナル、ナツテ來レバドウスルカト云フヤウナコトヲ御考ニナルカ、政府ガ或ハ其ノ業務ノ如何ニ依ツテハ補填シテヤルト云フ御考ガアリマセウカ、其ノ場合はハ是ヘ改正モ、一部ノ改正ヲヤシヲ喰ッタノデス、借金々々デ行キマシテ、遂ニ破産スル工業ガ澤山出來タ、著シケレドモ、サウ樂觀ハ出來スト思フノデス、

方ノ立場ト致シマシテ可憐サウデアル、報酬ノ中カラ年金掛
ガ續イテ居レバ其ノ報酬ノ中カラ年金掛
金ヲシテ居ツテ、年金ガ終ヒニ貰ヘルノニ、
職ヲ離レテシマッテ、報酬モナイ、従ツテ掛
先ニ見テモ遂ニ年金ヲ貰フコトガ出來ナイ
ト云フコトニナリマスカラ、其ノ方面ノ救
濟ヲ寧ロ考ヘテヤラナケレバナラスト云フ
コトニナリマスノデ、ソコデ此ノ案デハ或
年數ヲ大體三分ノ二位デアリマスガ、其ノ
年數ヲ掛金ヲシテ來タヤウナ勞働者ハ、自
分ノ負擔ニ於テ其ノ後ノ足シ前ヲ掛金ニシ
テ行ケバソレデ年金ニナルト云フ途ハ開イ
テ置キマシタノデス、不十分デハアリマス
ルガ、サウ云フ途ヲ一應勞働者ニ開イテ、
年數ノ非常ニ少イモノニ付テハ仕様ガナイ、
縮メテ一時金ヲ貰シテ引下シテ貰フト云フコ
トデ、途中デ廢タノハ、三年以上勤續シ
タモノデアレバ、年金ニ入ラヌ場合ニハ一
時金ヲヤルト云フヤウニ致シマシタヤウナ
譯デアリマス、只今御心配ノ方ノ事業主ノ
方ノ負擔ト云フコトハ、根本ノ勞働者ヲ手
離サネバナラヌカド。カト云フコトニ付テ
考ヘタダケデ宜ノノデハナイカ、若シ勞働
者ヲ抱ヘテ居ルトスレバ、事業費ノ千分ノ
三位ノ程度ノモノニアレバ、ソリアルガ故
ノデアリマス、モット根本デ、勞働者ヲ抱
ヘ尙事業ヲ繼續シテ行クカ、行カヌカト云
カト云フヤウナ所ヘハ、先ヅ觸レナイト見
テモ宜ノノデハナイカト云フ考ガ致シマス
居リマスノデ、先ヅソレ等ノ點ハ餘リ心配
シナクテモ宜イト云フコトデ、此ノ案ニ於
キマシテハ特別ニソレガ爲ニ各會社其ノ他

○田所美治君 サウスルト、是ハ何デゴザ
イマスカ、任意繼續被保險者ニ付キマシテ
モ、即チ倍額ノ負擔ヲ勞働者自身デヤッテ行
ケバ、請求權ハ繼續サレルト、斯ウ云フ譯
デゴザイマスネ、其ノ點ハソレデ能ク分リ
マシタ、不景氣ノ場合ニハサウ云フコトニ
ナルダラウト思フノデアリマスガ、大キナ
工場ヲ御考ニナッテ居リマスガ、大キナ工場
程不景氣ガ來ルトヤリ切レヌ、一番困リマ
スノハ造船ミタイナ大キナ事業デスネ、ア
レガ「デフレーション」ノ時代ガ來ルト大變ナ
コトニナッテ來ル、ナカノ何萬ノ金ガ其ノ
時ニ出セナント言ツテモ出マセヌデスナ、ソ
ン工場ハ「クローズ」スルコトガ出來ナイ、ソン
ナコトヲシタラ社會問題ヲ起シマス、ソレ
故某々ノ大キナ造船所アタリハ悲慘ナ目ニ
遭シテ居ル、ソレガ爲ニ農工銀行ガ倒レル、斯
ウ云フヤウナ話ニナッテ來タンデスガ、是ハ
私狀況ヲ見テ居リマスカラ此處デ御参考ニ
申上ゲテ置キマス、サウスルト此ノ勞働者
年金保險法ト云フノハ、先ヅ工業勞働者ト、
斯ウ考ヘテ宜シウゴザイマスナ

○政府委員(権貴詮三君) サウ考ヘテ戴イ
テ結構グト思ヒマス

○田所美治君 私ハマアソレ位ニ致シテ置
キマス

ハ掛金一圓ニ付テ二錢デ、此ノ保険ヨリ多少廉イノデアリマス、健康保険ノ保険料シテモ、不景氣ノ時代ニハサウ集ラナイノシテハナカト云フ懸念ガアツタ譯デアリマスガ、併シナガラ實際ノ經過ニ徵シマスルニ、多少ノ困難ハアリマシタケレドモ、大體ニ於テ支障ナク徵集ガ出来テ參ッテ居ルノデアリマス、ト云フノハ、不景氣ニナリマスルト、自然賃金モ多少下ッテ參リマセウシ、勞働者ノ數モ減ヅテ來ルト云フヤウナ譯デ、且又先程長官カラ御話ガアリマジタヤウニ、此ノ程度ノ保険料ノ負擔ト云フモノハ、生産費ニ比ベマスレバ、極メテ小額デアリマスルノデ、マアサウ云ウ場合ニハ借金ガソレダケ多クナルノカモ知レマセヌケレドモ、實際問題トシテハ收ッテ居リマス、デ、萬一納メラレナイ、納メナイヤウナ者ニ對シマシテハ、強制徵集ノ規定モ設ケテ居リマスルノデ、適當ニソレ等ノ運用ニ依リマシテ、大體支障ナク進メラレル見込デ居リマス、ソレカラ先程健康保険ト此ノ保険ト、死亡ノ際ノ給付ガ重複シヤシナイカト云フ御言葉ガアリマシタノデスガ、成程健康保険ニモ、此ノ保険ニモ、保険事項ノ中ニ死亡ト云フコトガアルノデアリマスガ、健康新族ニ於キマシテハ死亡ノ際ニ埋葬、御葬式ノ費用ヲヤルト云フコトニナッテ居リマス、唯遺族年金ヲ貰フヤウナ資格ノアル遺族ガナイ場合ニ、多少ノ一時金ヲヤリマス、是ハ此ノ年金制度ト云フモノガ一面貯蓄的ナ性質ヲ持ツテ居ル、長年ニ亘ツテ掛金ヲシ

テ居ルノニ、碌ニ養老年金モ貰ハナイ内ニ死ンデシマツテ、何ニモ貰ヘヌト云フノデヘ、氣ノ毒ダト云フノデ、サウ云フ人ニ對シテ多少ノ一時金ヲ遺族ニヤルコトニ致シマスガ、是へ此ノ養老年金制度ノ特徴カラ來マス所ノ一種ノ還付金ノヤウナ性質ヲ持ッタモノデアリマシテ、ソレダケガ一見重複スルヤウニ見エルノデアリマスケレドモ、性質ハ全ク埋葬料トハ違フモノデアリマスカラ、御承知ヲ願ヒマス

○田所美治君 モウ一ツ伺テ置キマスガ、現在年金ヲヤッテ居ル工場ト云フモノハ大分アルモノデゴザイマスカ、健康保険ノ方ハ成ル程實施以來大分日ヲ經テ居リマスガ、年金ヲヤッテ居ルヤウナ工場ガゴザイマセウカナ

○政府委員(権賀三君) 官業ノ方デハ共濟組合ガアリマスカラ、年金ヲヤッテ居リマス、民營ノ方デハ非常ニ少ウゴザイマシテ、八幡ノ日本製鐵一ツダケゴザイマス、外ハヤツテ居リマセヌ、是モ官業ノ延長ダモノデスカラ、ソコデ年金ノ制度ガアッタト云フヤウナ譯デアリマス

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○田所美治君 私ハ、吉田委員ナドガオイデニナリマスカラ、本案ノ何ハヨク御諒解ノ上ニ賛否ヲ決スル譯デアリマセウガ、丁度此ノ法案ノ機會ヲ利用シマシテ、精神労働者ト云フト少シ譯弊ガアルカモ知レマセヌガ、教育其ノ他精神的ノ方面ニ從事シテ居ル労働者ニ付テ、政府ハ一體下レダケノコトヲ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ同ツテミタイト思フノデアリマスガ、マア文部省ノガ一番關係ガアリマセウガ、誰カ文部省ノ

政府委員ニ、文部大臣ナラ結構デゴザイマ
スケレドモ、好イ機會ニチヨットオイデヲ願
ヒタイト私ハ思ヒマス、ソレハ之ニ直グニ
シ、農業ニモ考ヘテミル、「ヨーロッパ」諸
國ニ後レナガラニ、兎ニ角誠ニ好イ施設ダ
ト思フ、斯ウ云フ譯デアリマスガ、小學校
ノ教員トカ、私立ノ中學校ノ教員トカハ、
ナカノ「勞働ノ給料ヨリ低イモノガ澤山ア
ルノデス、大體平均ニ百圓ニ達シテ居リマ
スマイナ、小學校教員ナドハ六十圓、五
圓ト云フヤウナ譯デスカラ、勞働者ノ日給
ハ二圓、二圓五十錢ト云フヤウナ譯ナンデ
スカラ……、中等學校モアリマスシ、何萬
居リマセウカ、一向政府ノ施設モ制度モ立
テ居リマセヌシ、共濟組合ナルヤウナモノ
モボツツ……昨今出來ツ、アル、ソコデ小學
校ノ教員ニナリ手ハナイ、小學校ノ教員或
ハ中學校ノ教員ニモ今日缺乏ヲ感ジテ來
テ居ル、マア由々シキ大事ダト云フヤウナ
コトニナツテ、政府モ今度八十圓ノ手當ヲヤ
ルト云フコトデ追加豫算ヲ出しシテ居ラレマ
スガ、同時ニデス、斯ウ云フコトヲ厚生省
デ御考ニナレバ、勞働者程ノ者デナイガ、
勞働者ヨリモット精神的ノ方面カラ云フト
急務中ノ急務ノ者モアルカモ知レマセヌ、
考ハ政府モ持チテ居ルヤウデスケレドモ、一
向施設ガ伴ハナイ、好キ序デスカラ、是
ハ権員政府委員ニ伺フコトハ出來マセヌカ
ラ、文部省ノ政府委員ニ一度オイデヲ願ヒ
タイト思ヒマスガ、委員長ニ一ツ御願ヒシ
テ置キマス

セヌガ、マア権限分配ノ關係カラ致シマシテ、文部省ノ方デ只今研究致シテ居ル筈デゴザイマス、御承知ノヤウニ文部省ノ中ニ只今ソレ等年金ニ關シマスル所ノ教員恩給ト申シマセウカ、其ノ方ノ非公式ナ學校ノ組合見タインモノガ出來テ居リマシテ、共同「ファンドー」ニ依ル所ノ恩給ノコトガ取扱

老年金ト云フモノガダブッテ行クヤウナ形ニナルガ、其ノ割合ヲムヅカシイカモ知レマセヌガ、見當ガ付クモノトスレバ、考ノ付ケヤウガハツキリシテ來ヤセヌカト思フ

ノニ、理論一點張リデオ前ニハ何モヤラナ
イゾト云フコトデ追拂フト云フヤウナコト
ハ、酷デアリマスカラ、マア掛金シタノニ
低イ三分カ三分五厘ノ金利デ、ソレヲ複利

計算シタヤウナモハテ、凡ソ其ノ程度ノモ
ノヲ返シテヤラウト云シタヤウナ趣旨デ一
種ノ特許ノ意味ヲ比ノ掛金モ持チマスレモ

ハル、コトニナッテ居ルサウデゴザイマスケレドモガ、ソレハ十分ナ効キヲマダシテ居ラナイサウデゴザイマシテ、文部省ニ於キマシテハ是デハイケナイト云フノデ、更ニ

マス、サウ云フモノガ一方ニアリ、ソレカラ
從來ノ退職手當ハ別ニ出テ居リマスガ、此
ヲヤツテ居リマス、丁度官吏ノ方デモ一時恩
給ト云フモノヲ年數ニ達シナイ中ニ、先程申

上ゲマシタ退官賜金ノ外ニヤリマスノテス
ソレニ丁度該當スルヤウナモノデアリマシ
テ、ソレハ大體勸メタ一年ヲ一月ニ見マシ
ト申シマセウカ、廢メタ時ノ一時的ノ給與
ト云フヤウニ考へテ居リマス、今度ノハズツ

ト後ノ生活ヲシテ行ク、生活全部ト云フ
譯ニハ參リマセヌガ、其ノ經常的ノ補給ヲ
テ、一年ニ對シテ一月分位ノ所ヲヤルト云
フヤウナコトニ官吏ノ方デモナツテ居リマス

ス、恩給ヲ貰フト貰ハヌニ拘ラズ、退官賜
金ト云フモノガ三月分位出マスガ、其ノ外
云フノデ、性質カラ申セバサウ云フコトハ
ナイ譯ダト思ツテ居リマス

實際上ハ外ノ賜金ナドモ貰ヒマスガ、制度ノ
上カラ申シマシテ恩給ノ外ニ退官賜金ト云
モノガ出テ居リマスガ、良儀手當ハ退官賜
金ナシテ來レヤウナ氣寺ガシマスノト、ソ
ヘテ居ルノデスガ、同ジヤウナモノガ何ダ
○伯爵樺山愛輔君 非常ニ良イ御趣旨ト考

金ノ方ニ當ルヤウナモノデアル、其ノ時ノ賄ヲ
付ケテヤラウト云フコトデ、勞働者ナドニ
レカラ非常ニ昨今ハ色々々ナ調ベルコトヤ手
續、其ノ他ノコトデ、非常ニ何カ複雜シテ

致シマスレバ、轉職ナドニ使ハセルト云フ
ノガ主ナ趣旨デアリマシテ、此方ノ方ハ後
ノ生活ヲ寺賃シテ行クト云フ考テアリマス、
一本デ行ケルト云フヤウナ形ニデモナルト
來ルノデスネ、返還金ノ支出ハ、何カ斯ウ
云フモノガモット單純化サレ、一口ニ言ヘバ

先程申上ガマシタヤウニマダ年數ニ達シ
ナイノニ、一時金ヲヤリマスガ、ソレハ
給與ト云フヤウナモノハ非常ニ複雜ナモノ

寧ロ此ノ制度ノ中心デハアリマセヌノデ、
掛金ヲシテマダ年金ニナラナイ中ニ廢メタ
デス、紙カイ仕事デスケレドモ、ソンナヤ
ウナ感ジヲ持ッテ居リマスノデス、ソレカラ

○政府委員(樺貝詮三君) 只今ノ御尋ノコ
トハ厚生省ノ方ニ考フベキコトカモ知レマ
ナ心持ヲ以テ、民間ノ方ニモ社會經營ヲシ
テ居ル譯ナンデスカラ、其ノ上ニ今度ハ養

モウーツ御伺ヒシマスガ、是ハ勞働者バカリノ何デアリマスガ、段々是ハ矢張リ當リ前ノ從業員ナンカノ方モ、何カソンナヤウナコトニ付テ、將來ハ御考ニナル積リハナノデアリマセウカ、結局マア恩給ニ相當スルヤウナ、何カソレノ形式デスネ、昨今ハ色々「ボーナスト」カ、配當ダトカラ色々ナ風ニ段々統制シテ行カレルヤウデスガ、終ヒニハ矢張リ其ノ邊マデ持ツテ行カウト云フ御考ハナイノデゴザイマセウカ

○政府委員(樋貝詮三君) 實ハサウ云フ考ヲ持ツテ居リマスノデ、一般商業其ノ他工業方面ニ付テモサウデアリマスガ、其ノ方面ニ使ハレテ居リマス所謂「サラリーマン」デス、ア、云フ方面ニ付テハ矢張リ斯ウ云フ年金制度、言葉ヲ換ヘテ申セバ民間恩給デアリマスガ、其ノ範囲ヲ擴張シテ行クベキモノト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、先程モチヨット田所サンノ御尋ねノ時ニ申上ゲタヤウナ譯ズスガ、時局ノ關係モアリ、色々ナ點カラ致シマシテ、多少其ノ計畫モ先ニ延ビナケレバナラタカト思ツテ居リマスケレバモ、ドウシテモサウ云フ風ニ向ケナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレカラ更ニ一步ヲ進メマスト、所謂民間ノ養老年金ト申シマセウカ、サウ云フヤウナコトモ相當考ヘナケレバナラヌノデヤナイカト思ツテ居リマスガ、是ハ御承知ノ通り非常ニ國ノ負擔ト云フコトモ考ヘナケレバイケマセヌ、今日非常ニ國帑ヲ多ク費シテ居ル時ニ、サウ云フコトヲヤルト致シマスレバ、ソレガドウシテモ時局柄急ヲ要スルト云フノデナイ限りハ、多少ソレニ斟酌ヲ加ヘテ、時期ナドノ點ニ付テハ

十分考慮シナケレバナラヌノデヤナインカト云フコトガ考ヘラレルノデスカラ、今直グソレニ入ツテ行カウトモ思ヒマセヌケレドモ、研究ハ政府部内ニ於キマシテ著々ト進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ法文トシタリスルヤウナ點ダケナラバ是ハ造作ナイノデアリマスガ、ソレ等ノ諸般ノ事情ヲ考慮シテ居リマスノデスカラ、進ミ兼ネテ居ル譯デアリマス、ソンナ次第デアリマシテ、ソレカラ尙色々重複シテ制度ガ複雜ニナッテ参リマスニ付テハ、成ルベク之ヲ單純化シタイト思ヒマシテ、銳意其ノ方法等ニ付キマシテハ研究致シテ居リマス○伯爵樺山愛輔君 是迄ノ長イ習慣デヤヂ來テ居ル所ニ持ツテ行ツテ、昨今ミタヤウニ利益金ノ處分法ダトカ、「ボーナス」何ダトカ、配當ノ何ダトカ云フコトデ、段々統制スルヤウニナルト云フト、ドウシテモ結局ソコ迄行カヌト云フト辻棟ガ合ハヌヤウナ氣持ガ私ハスルノデゴザイマス、ドウカ一ツ之ニ付テハ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス○遠藤柳作君 先刻樺山伯ノ退職手當ト年金恩給ト重複スルコトガアリハシナイカト云フヤウナ御尋ニ對シテ、長官カラサウ云コトハナイト云フヤウナ御答辯デアッタノデアリマスガ、サウデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 性質的ニハ先程申上ゲタヤウニ退職手當ノ方ハ一時的ノコトヲ考ヘテ居リマスシ、今度ノ年金ノ方ハズット生活ヲシテ行ク資料ト云フモノヲ中心ニシテ居リマスモノデスカラ、性質的ニハ重複シナイト考ヘテ居リマスガ、今回デモ、途中デ年限ニ達シナイデ廢メタノニ退職手當トノ關係ニ付キマシテハ、大體只今保険院長官カラ申サレマシタ通リデゴザイスガ、ソレヲヤリマス所ガ退職手當ニ能ク

似テ居ルノデアリマス、退職手當ノ方ハ事業主ヲシテソレヲ積マセテ置クコトニシテ、コチラノ方ハ政府ノ方デ金ヲ持ツテ居ツテ本モ、研究ハ政府部内ニ於キマシテ著々ト進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ法文トシタリスルヤウナ點ダケナラバ是ハ造作ナイノデアリマスノデ、其ノ點ハ今回ノ年金モ重複ダト言ヘバ重複ト云フヤウナコトニ考ヘラレル餘地ガアリマスガ、今回ノデ退職手當ヲ何故ニソレヲヤッタカト云フ其ノ趣旨ハ、退職ノ時ニヤル、詰リ退職手當ヲ人ニ給與スル譯ナンデスガ、其ノ點ハ非常ニ類似シテ居リマスデスカラ、ソレデ之ヲ考慮シテ居リマス、ソンナ次第デアリマシテ、ソレカラ専色々重複シテ制度ガ複雜ニナッテ参リマスニ付テハ、成ルベク之ヲ單純化シタイト思ヒマシテ、銳意其ノ方法等ニ付キマシテハ研究致シテ居リマス○伯爵樺山愛輔君 是迄ノ長イ習慣デヤヂ來テ居ル所ニ持ツテ行ツテ、昨今ミタヤウニ利益金ノ處分法ダトカ、「ボーナス」何ダトカ、配當ノ何ダトカ云フコトデ、段々統制スルヤウニナルト云フト、ドウシテモ結局ソコ迄行カヌト云フト辻棟ガ合ハヌヤウナ氣持ガ私ハスルノデゴザイマス、ドウカ一ツ之ニ付テハ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス○遠藤柳作君 先刻樺山伯ノ退職手當ト年金恩給ト重複スルコトガアリハシナイカト云フヤウナ御尋ニ對シテ、長官カラサウ云コトハナイト云フヤウナ御答辯デアッタノデアリマスガ、サウデアリマスカ

ト事業主ガ一定金額ヲ積立テマシテ、勞働者ヲ解雇シタ場合ニ一定額ヲ支給シマスル外ニ、勞働者モ一定額ヲ積立て、廢メタ時ニ貰フト云フコトニナッテ居リマス、其ノ

勞働者ノ積立テマス部分ハ實質ハ貯蓄の大モノデアリマスノデ、其ノ點ハ今回ノ年金モ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

制度ト性質ニ於テモ重複シテ來ルト云フコトニナリハシナイカト云フノデ、其ノ勞働者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

トニナリハシナイカト云フノデ、其ノ勞働者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

トニナリハシナイカト云フノデ、其ノ勞働者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

トニナリハシナイカト云フノデ、其ノ勞働者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖ラウト

者ノ積立テマス部分ダケヲ調整ヲ圖

事、教育其ノ他ノ精神的ノ事業ニ携ハル者ニシテ、私ノ關係ニアルモノ、私立學校等ノ職員ニ付テ何等力對策研究ヲシテ居ルカト云フ御質疑ト承リマシタ、此ノ點ハ誠ニ仰セノ通りニ實ハ私立學校、大學ヨリ小學校ニ至リマスル間ノ私立學校職員ニ關シマスル福利ノ施設乃至生活安定ニ關シマスル方法ハ誠ニ不備ノ現狀ニゴザイマシテ、公立學校ハゾレゝ恩給制度ガアリマスル譯デアリマスルガ、是ト比較ヲ致シマシテ、誠ニ備ハラナイ状況ニアルコトハ仰セノ通りデゴザイマス、是等ニ對シマシテハ從來ハ誠ニ不完全ナ私立中等學校教員恩給財團ト申シマスル財團ガアリマシテ、之ニ若干ノ國庫補助金ヲ交付致シマシテ、僅カニ退職資金的ナ一時賜金ノヤウナモノヲ給シテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、此ノ點ハ當局ト致シマシテモ誠ニ殘念ニ考ヘテ居リマス、殊ニ右財團ハ私立中等學校教員ノ全部員、私立ノ小學校職員等相當多數ニ上リマスルノデ、是非共是等ニ對シマシテ相當ノ施設ヲ講ズルノ要アルコトヲ認メマシテ、實ハ本年度襄ニ御協賛ヲ得マシタル昭和十六年度豫算ニ於キマシテ、私立學校職員退職給與金制度調査費ト云フ費目ノ下ニ一萬圓バカリノ金額ヲ計上致シマシテゴザイマス、右調查費ハ只今田所サンヨリ御述べ戴キマシテ、段々ニ御述ベノゴザイマシタヤウヌル學校職員ニ關スル退職給與金制度ニ關シマシテ調査致シマスル爲ノ經費デゴザイマシテ、

○田所美治君　今ノ詳細ナ御話ヲ承ツテ
能ク分リマシタ、速カニ此ノ調査ヲ願ヒマ
シテ、ソンナニ複雑ナ問題ヂヤナイト思ヒ
マス、今御話ヲ通リ私立學校ノ恩給財團デス
カ、ト云フヤウナモノガアツテ、一部ハ勵
イテ居ル、若干ノ學校ハ加入シテ居リマセ
ウ、ソレカラ學校モソレガ爲ニ……ソレヨ
リハ幾分カ本人以外ノマア丁度事業主ガ
本法ニ依ツテ同額ヲ負擔スルヤウニ、學校
モ負擔シテ居ルダラウト思ヒマスガ、サ
ウスルトヤルノハ一時賜金、ソレハサウ
デセウ、金ガナイカラ……本案ノ如ク段々
進ンデ行クト、今カラ進ンデ行クト百億
ニモナル、マア五十億迄ノ表ガ出テ居リマ
スガ、大變ナ蓄積ニナッテ來マスカラ、是ハ
マア全國的ニ何百萬人ノ數アリマスガ、
ヤリ方ニ依ツテハ何んモナク出來ル、丁度此
ノ年金法ガ参考ニナル、茲ニ其ノ手本ガ出
來テ居ル、ソレハ何十年後ハ五千萬圓位ダ
ト申シマスガ、此ノ年金法デ以テ國家ガ若
干補助ナサル、斯ウ云フコトニナル、是ハ
國家ガ當然ヤツテ宜イデセウ、國家ノ直接目
的ノ教育デアリマスカラ、私ハ是非御願ヒ
シマスガ、來年此ノ次ノ議會ニハソレデモ
御出シニナラスト、是ハ教育ノ非常ナ退歩
ニナリマスノト、教員ハ皆外へ出テシマフ、
此ノ勞働者年金法ニ負ケヌヤウナ方向ヘド
ウゾ御進ミヲ願ヒタク、文部大臣ニドウゾ
御傳ヘヲ願ツテ置キマス

○政府委員(藤野恵君) 只今ノ御意見ノ所
ハ十分拜承致シマシテ大臣ニ然ルベク御傳
へ致シマス
○田所美治君 序デニチヨット政府委員ニ
同ヒマスガ、是ハ何んデスカ、今カラ二十年
シマセヌト云フト其ノ遺族ハ年金ヲ貰ヘヌ、
ニ行カヌノデスカ、是カラ二十一年後ニナッテ
初メテ貰ウ、斯ウ諒解シテ宜シウゴザイマ
スカ

○政府委員(樋貝誼三君) 左様デゴザイマ
ス、從來ノ分モ通算シタラドウカト云フコ
トモ考ヘテ見タノデスガ、實ハ二ツノ點カ
ト困リマスノハ、一ツハドウ云フ風ニ勞働
シテ居ツタカ、今迄ノ記録モ何モナイモノデ
スカラ、偶々少シ位アリマスケレドモ、無
イノガ多イノデアリマス、ソコデ何處ニド
ウ勤メテ居ツタカト云フコトガハッキリ致シ
マセズノデ、之ノ調査ノシヨウガナイト云
フ點ガ一ツ、モウ一ツハ今迄ノモノヲ通算
シ得ルトスレバ、過去ノ分ニ付テモ掛金ヲ
シナケレバナラスト云フコトニナリマスガ、
之ヲ纏メテ一遍ニ勞働者ニ掛金セヨト言フ
テモ不可能ナ話デアリマス、ト云フヤウナ
點デ從來ノハ遺憾ナガラ通算出來マセヌノ
デアリマス、昨年御願ヒシマシタ船員法ノ
方デハ、是ハ船員手帳ガアリマスカラ、ハッ
キリ分リマシテ、非常ニ數モ少イシ、或程
度ノ通算モ認メタノデアリマシタガ、一般
労働者ニ付キマシテハサウ云フ途ガアリマ
セヌノデ、通算ハ致シテ居リマセヌ、唯此
ノ法案ノ附則デ少シソレ等ノ人々ニ付テハ
優遇スルト申シマセウカ、年金ハ別デアリ
マスガ、退職手當ニ付キマシテハ新ラシクナ

ル者ハ三年以上居ツテ、途中デ廢メタ者デ
ナケレバ退職手當ハ貴ヘマセヌカラ、從來
ノモノニ付テハ其ノ期間ヲ短縮シタノガ附
則ニ少シバカリアリマスガ、其ノ程度以上
ニハ考ヘヨウガアリマセヌ、是ハ非常ニ遺
憾ト致シテ居リマスガ、ドウモ已ムヲ得ナ
イト思ツテ居リマス

分分リマセヌ、ソレヲ基準ニシテ掛金ノ取
リヤウガアリマセヌノデゴザイマス、ソレ
カラモウ一ツ二十年先キニ行ッテ實現
スルト、年取ッタ職工ナドニ付テハ無
意味デヤナイカト云フコト、誠ニ御説ノ通
リト考ヘラレマスケレドモガ、脱退手當ニ
付キマシテハ、是ハ三年經テバ問題ニナツテ
參ルノデ、先程申上ゲマシタヤウニ、掛金
トソレニ複利計算シタモノ位ト云フ大體ノ
程度デアリマスガ、サウ云フモノガ返ツテ參
リマスカラ、得モ損モナイ、直グカラ年金
ニ依ル權利ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ
點ニ、少シクガッカリシタ所ガアリマスケレ
ドモ、今申上ゲタヤウナ譯デ、ドウモ已ム
ヲ得ナイト思ハレマス、若シ非常ニ良イ方
法ガアレバ、更ニ考慮ヲ致シマスガ、今迄
研究致シマシタ所デハドウモ行キ兼ネマス、
尙先程私船員保険ニ付テ年金迄通算ヲ致シ
タヤウニチヨット御聽取り願フヤウナ言葉
ヲ使ツテ居リマシタガ、船員モ通算スルノハ
年金迄及ビマセヌデ、一時金ノ分ダケニ付
テ通算ヲスルコトニ致シテ居リマス、其ノ
點ハ申シ添ヘテ置キタイト思ッテ居リマス
○田所美治君 船員保険ノ方ノ規定ヲチヨッ
ト御教ヘ願ヒマス、何處ニサウ云フモノガ
ゴザイマスカ、遠藤君カラ聽カレタノデス
ガ、マア五十年目ニハ八十三億圓ト云フ積
立金が出來ル、其ノ年ノ收入保険料ガ五億
アル、斯ウ云フ譯デスガ、何カモウ少シ五
十年目デスガ、二十年經タナケレバ、本當
ニ年金ハ工合ガ悪イデスカ、愈、出來ヌト云
フナラバ仕方ガナイケレドモ、何ダカ政府
ガ今金ガ要ル時ダカラ、保險會社見タヤウ
ナモノデ金ヲ集メテ行クノダ、郵便局ノ貯
金ミタヤウニモ思ハレルト云フヤウナ感ジ

ガスルノデアリマスガ、ソコノ救濟ハ出來
スモノデセウカ
○政府委員(川村秀文君) 船員保険ノ方ハ
御手許ニ添ヘテアリマスガ、其ノ船員保險
法ノ一番終リノ附則ニ經過規定ヲ規定シテ
居リマス、之ガ矢張リ過去ニ於ケル勤續ノ
期間ヲ考慮ニ入レマシテ、脱退手當金ノ金額
額ヲ加減シテヤル、斯ウ云フコトニ相成ツテ
居ルノデアリマス、此ノ勞働者年金保險ニ
於キマシテモ、先程保險院長官カラ申サレ
マシタヤウニ、船員ノヤウニ過去ノ經歷ガ
分リマセヌケレドモ、セメテ同一ノ工場ナ
ドデ或一定期間勤續シテ居ッタ者、或程度ノ
材料モアル、ソレデ第七十二條ニ於キマシ
テ、現ニ使用セラル事業主ノ工場、事業
場若ハ事業又ハ現ニ使用セラル工場、事
業場若ハ事業ニ引續キ一定期間居ッタ、五年
以上トナツテ居リマスガ、サウ云フモノニ付
テハ脱退手當ノ金額ヲ増シテヤラウト云フ
コトニ致シテ居リマス、斯様ニ致シテ大體
船員保険ト歩調ヲ合セマシタヤウナ次第デ
アリマス、又一方船員ニ比較シテ非常ニ厚
イ保護ヲ致スト云フコトモ色々問題ヲ生ズ
ルコトデアリマスノデ、均衡ヲ取リマシテ、
斯様ノ程度ニ致シタノデアリマス、尙年
積立金ヲ免除ニナツテ居リマスガ、事業主ノ
方ハ將來研究スル餘地ガアルノデアリマセ
ウカ、モウ研究スル必要ハナイト云フ御見
込デアリマセウカ

○政府委員(川村秀文君) 先程モ申上ゲマ
シタヤウニ、事業主ノ出シマス所ノ退職手
當ト云フモノハ從來モ、昔カラモアラマス、
解雇手當ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデアリマ
シテ、此ノ年金保険ガ出來タカラト言ッテ
之ヲ止メル譯ニハ参リマセヌノデスガ、將
來失業ノ場合ノ救濟手段、ソレハ或ハ失業
保険ト云フヤウナ形デ出來マスカ、或ハモッ
ト變ツタ形デ出來マスカ、何レニセヨ勞働者
ガ失業シタ場合ニ適當ナル救濟手段ガ完備
シタル制度ヲ設ケラレルト云フコトニデモ
ナリマスレバ、其ノ際ニハ是ハ止メルト云
フヤウナコトガ考ヘラレルト思ヒマスガ、

ガスルノデアリマスガ、ソコノ救濟ハ出來
スモノデセウカ
○政府委員(川村秀文君) 船員保険ノ方ハ
御手許ニ添ヘテアリマスガ、其ノ船員保險
法ノ一番終リノ附則ニ經過規定ヲ規定シテ
居リマス、之ガ矢張リ過去ニ於ケル勤續ノ
期間ヲ考慮ニ入レマシテ、脱退手當金ノ金額
額ヲ加減シテヤル、斯ウ云フコトニ相成ツテ
居ルノデアリマス、此ノ勞働者年金保險ニ
於キマシテモ、先程保險院長官カラ申サレ
マシタヤウニ、船員ノヤウニ過去ノ經歷ガ
分リマセヌケレドモ、セメテ同一ノ工場ナ
ドデ或一定期間勤續シテ居ッタ者、或程度ノ
材料モアル、ソレデ第七十二條ニ於キマシ
テ、現ニ使用セラル事業主ノ工場、事業
場若ハ事業又ハ現ニ使用セラル工場、事
業場若ハ事業ニ引續キ一定期間居ッタ、五年
以上トナツテ居リマスガ、サウ云フモノニ付
テハ脱退手當ノ金額ヲ増シテヤラウト云フ
コトニ致シテ居リマス、斯様ニ致シテ大體
船員保険ト歩調ヲ合セマシタヤウナ次第デ
アリマス、又一方船員ニ比較シテ非常ニ厚
イ保護ヲ致スト云フコトモ色々問題ヲ生ズ
ルコトデアリマスノデ、均衡ヲ取リマシテ、
斯様ノ程度ニ致シタノデアリマス、尙年
積立金ヲ免除ニナツテ居リマスガ、事業主ノ
方ハ將來研究スル餘地ガアルノデアリマセ
ウカ、モウ研究スル必要ハナイト云フ御見
込デアリマセウカ

足ラナクテモ、勅令デ別段ノ定メト云フコ
トデ歩合ヲ大イニ増シテヤルト云フコトモ
ス、但ソレハ一時金タル脱退手當金ノ金額
ヲ殖ヤシテヤルト云フ方法ヲ取ツテ居ル譯
デアリマス
○田所美治君 其ノ勅令ハ頂戴シテ居リマ
スネ
○遠藤柳作君 先刻總務局長ノ御答辯デ退
思ヒマス
○遠藤柳作君 先刻總務局長ノ御答辯デ退
職積立金及退職手當トノ關係ノ點ハ了承致
シマシタガ、何デゴザイマスカ、勞働者ノ
方ハ「其ノ二分ノ一以上ヨリ積立ヲ爲サザ
ルコトノ申出アリタル場合ニ於テハ此ノ限
ニ在ラズ」ト云フコトニナツテ居リマシテ、
積立金ヲ免除ニナツテ居リマスガ、事業主ノ
方ハ將來研究スル餘地ガアルノデアリマセ
ウカ、モウ研究スル必要ハナイト云フ御見
込デアリマセウカ

○政府委員(川村秀文君) 退職手當ノ制度
ハ勞働者ガ退職シマシタ際ニ、當座ノ食扶
持或ハ轉職ノ爲ノ資金ト云フヤウナ意味ニ
於テ支給サレマスノデ、ドウシテモ養老年
金トハ性質ヲ異ニシテ居ルト考ヘラレマス
ノデ、此ノ制度ガ出來タカラト云ツテ之ヲ止
メテシマフト云フコトハ不適當デアラウト
思フノデアリマス、勞働者ノ分ヲ斯様ニ住
意ニ致シマシタト云フノハ、勞働者ノ分ニ限
テ、是ハ退職ノ際ニ貰フノデアリマスケレ
ドモ、貯蓄的ノ性質ヲ持ツテ居ル、實際ノ積
立ノ方法モ勞働者個人々々ニ通帳、テ以テ積
マシテ居ルト云フ譯デアリマシテ全ク貯金
ノ性質ヲ持ツテ居リマス、此ノ年金保険ガ出
來マスレバ、其ノ部分ニ於テハ誠ニ是ハ重
複スル、從ツテ勞働者ノ部分ダケハ積マヌデ
モ宜イ、任意ト云フコトニ致サウト云フコ
トニナツタノデアリマスガ、唯勞働者一人一
人、私ハ積マヌ、私ハ積ムト云フコトデハ
事業主ノ方デモセニ手數ガ掛ルノデ、此處
ニ規定シテアル通り、包括的ニ斯ウ云フ希
望ガアレバ全部積マヌデモ宜イト云フコト

ニ致シタノデアリマス、尙チヨット附加ヘテ
申上ゲスマガ、退職手當ト本法トノ關係ニ
付テハ保険制度調査委員會ニ於テ最モ力ヲ
入レテ論議ヲサレマシタ結果、大體サウ云フヤウ
調査會ハ御承知ノ通り勞資兩方面ヲ代表ス
ル人ガ相當數集ツテ、此ノ點ハ數日ニ亘ツテ
論議ヲサレマシタ結果、大體サウ云フヤウ
ナコトガ適當デアラウト云フコトニ結論ガ
付キマシタ次第デアリマス

○委員長(公爵島津忠承君) 一般的ノ御質
疑ハアリマセヌカ

○中川望君 チヨット御諮詢願ヒタイノ
デアリマスガ、大體ノ御質問が終リマシタ
ナラバ、私共條文ニ付テ、大體七十餘條ニ
亘ルモノニアリマス、若シ願ヘマスレバ
大體船員保険法ニ似寄ツテ居ルヤウデアリマ
スガ、船員保険法トモノニ依ツテ違ツテ居ル
所ガアル、是ハ當然ノコトト思ヒマスガ、
船員保険法ト對照シテ、變ツタ所ダケヲ簡單
ニ御説明ヲ願ヘマスレバ審査上大變便宜ト
思ヒマス、併シ是ハ私ノ唯希望ダケデアリ
マスカラ、皆様御希望ガアリマスレバ、當
局ノ御説明ヲ願ヘレバ大變審査上便宜ト思
ヒマスガ、如何デアリマスカ

○委員長(公爵島津忠承君) 如何デアリマ
スカ、只今ノ中川委員ノ御申出ハ御異議ア
リマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○政府委員(築誠君) 私カラ説明ヲ致シマ
ス、先づ第一章ノ總則ノ點ニ付テ申上ゲマ
スト、船員保険ト違ツテ居ル主ナ點ヲ申上ゲ
マスト、先づ第一條ノ保険事故ノ範圍ニ付
キマシテ、船員保険ニ於キマシテハ、本保
險法案ノ第一條ニアリマス「老齢、廢疾、死
亡又ハ脱退」ノ外ニ疾病、負傷ヲ含ンデ居

ガアリマシタ通リデアリマス、其ノ他第一
章關係ノ各條文ニ付キマシテハ大體船員保
險ト同様デアリマス、ソレカラ第二章ノ被
保險者ノ範圍ニ付キマシテハ、船員保險ニ
付テハ無論船舶乗組船員ヲ對象トシテ居リ
マス、コチラノ方ハ工場、礦山等ノ工業的
企業ノ勞務者ヲ對象ト致シテ居リマスガ、
其ノ點デ十六條ノ強制被保險者ノ範圍ガ
決ヅテ居リマス、尙船員保險ニ於キマシテ
ハ、本保險法案ノ第十七條ニアリマスヤウ
ナ任意加入ノ制度ハ認メテ居ラヌノデアリ
マスガ、本保險ニ於キマシテハ、十七條ニ
依リマシテ、健康保險法ト同様ニ任意加入
ノ途ヲ開イテ居リマス、健康保險ト違フ點
ハコチラノ保險ニ於キマシテハ、任意加入
ノ本來ノ建前ニ戻リマシテ、個人デモ事業
主ノ同意ガアレバ加入出來ルコトニナッテ
居リマス、ソレカラ第二十二條ニ參リマシ
テ、被保險者ヘノ給付ハ、此ノ點ハ船員保險
ノ被保險者ニモゴザイマスルガ、唯其ノ條
件ト致シマシテハ、船員保險ノ方ハ養老年金
ヲ受ケマス條件ガ十五年以上トナッテ居リ
マスガ、本法ニ於テハ被保險者ガ十四年以
上二十年未満デ被保險者デナクナツタ場合
モ、其ノ被保險者ニ對シテ原典トシテ勅令
ニ付テ認メルコトニ致シタノデアリマスル
ノ資格ヲ認メヨウト致シマシタ、十五年ノ
三分ノ二、即チ十年以上被保險者デアッタ者
ニ付テ認メル所ニ依ツテ繼續シテ被保險者タル
ガ、併シナガラ其ノ資格ハ原則ト致シマシ
テ、本保險法案ニ於テハ十年ニナッテ居リマ
スルガ、船員保險法ト歩調ヲ合セマシテ、
二十年ノ三分ノ二、即チ四年以上ノ者ガ
被保險者タラザルニ至ヅタ者ニ對シテ有資格

者ト認メテ居リマス、ソレカラ第三章ノ保
險給付及福祉施設ニ參リマシテ、第一節ノ
總則ニ付キマシテハ、是ハ大體船員保險ト
同様ニナツテ居リマス、唯船員保險ニ於キマ
シテハ、總テ一律ニ船員ガ被保險者ニ相成
テ居リマシテ、從ヒマシテ養老年金ヲ受ケ
マス資格條件ニ付キマシテハ、其ノ間ニ差
別ハゴザイマセヌガ、本保險ニ於キマント
ハ、坑内夫タル被保險者ニ付キマシテ、坑
内夫タル被保險者トシテノ期間ヲ掲ゲマシ
テ、年金ヲ受ケル資格ヲ特ニ短ク致シテ居
リマス、其ノ關係上坑内夫タル被保險者ト、
其ノ他ノ一般ノ被保險者トノ間ニ於キマシ
テ、坑内夫タル被保險者トジテノ期間ヲ換
算致シマス必要ガアリマスノデ、二十二
五條ノヤウナ特別規定ヲ設ケテ居リマス、
其ノ他ハ大體同様デアリマス、ソレカ
ラ第一節ノ養老年金ハ、之ヲ受ケル資格條件
ハ、船員保險デハ被保險者ガ十五年以上
ニアッタ者ニ對シテ五十歳カラ支給スルコ
トニナツテ居リマスガ、本法案ニ於キ
マシテハ一般ノ被保險者ニ付テハ二十年ト
致シマシテ、其ノ者ガ資格ヲ喪失シタル
後五十五歳ヲ超エタキ、之ハ五十五歳ヲ
超エテ其ノ資格ヲ喪失致シマシタ場合ニ、
其ノ者ノ死亡迄養老年金ヲ支給スルコトニ
ナツテ居リマス、坑内夫タル被保險者ニ
付キマシテハ、其ノ特殊事情ニ基キマシテ
十五年デモ年金ニ付ク、サウシテ此ノ場合
ハ五十歳カラ支給スルコトニナツテ居リマ
ス、尙其ノ外繼續シテ働キマシタ場合ハ、
以上坑内夫タル被保險者トシテ働イタ場合
アリマスノデ、三十七條ノ第二項ノ後段ニ
於キマシテ繼續シタ十五年間ニ於テ十二年
以上坑内夫タル被保險者トシテ働イタ場合

ハ、十五年ニ満タナイ場合デモ、五十歳カラ養老年金ハ貰ヘルコトニナシテ居リマス、シテハ、船員保険ト同様ニナシテ居リマス、唯三十二條ノ二項ニ於キマシテ、同一事業主ノ工場或ハ事業場ニ長イ間繼續シテ働イタ場合ハ其ノ點特ニ養老年金ヲ支給スルヤニ考慮シテモ宜イデヤナイカト云フコトヲ考ヘラレマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ保険制度調査委員會ニ於キマシテモ、其ノヤウナ御意見ガゴザイマシテ、三十二條ノ第二項ニ十年以上勤續シタ者ニ對シテハ特ニ加算スル規定ヲ設ケテ居リマス、ソレカラ第三節ノ廢疾年金及廢疾手當金ニ付キマシテハ、廢疾ノ状態、手當金支給ノ方法ハ大體船員保険法ト同ジヤウナ風ニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、唯其ノ支給條件ニ付キマシテハ、細カイ點デゴザイマスガ船員保険ノ方デハ資格喪失前六年間ニ三年以上被保險者デナケレバナラナイ條件ニナシテ居リマスガ、本案デハ廢疾ニナシタ日カラ五年前述ノ間ニ三年以上ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ船員保険ニ於キマシテハ下船期間ガアリマスノデ六年トナシテ居リマスガ、此ノ方ハ其ノ點ガアリマセヌノデ五年前トシタノデアリマス、其ノ他ハ大體船員保険ト同様ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ次ハ遺族年金デアリマスガ、是ハ被保險者タリシ期間ガ二十年以上デアッタ者が死亡致シマシタ場合、其ノ遺族ニ對シ十年間遺族年金ヲ支給スルコトニナシテ居リマス、此ノ被保險者タリシ期間二十年以上ト云フ意味ニ付キマシテハ、今ノ三十四條ノ括弧ノ中ノ規定ニ依リマシテ、從ツテ坑内夫タル被保險者ニ付キマシテハ、被保險者タル期間ガ

ウナ間接ノ點カラスウナッテ居リマス
○男爵關義壽君 三十五條ノ一時養老年金ヲ貰ッタ者ガ、外ニ又就職シテ被保險者ニナツタ場合ニ給付シ、又再び其ノ仕事ヲ廢メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト云フコトハ分リマシタガ、サウスルト一時停止シテ後ノ新シイ職業ニ就イタ時ニハ、一月デモ二月デモ經チサヘスレバ前ト加算スルノデスカ、後ノモノハ一年カ二年經タケレバ加算シナイト云フコトニナッテ居ルノデスカ

○政府委員(樺貝詮三君) ソレハ兩方加ヘルノデアリマス、停止致シマスノハ、成ルベク年金ニナルヤウニ、一時金ヲ取ッテシマヒマスト、其ノ分ダケ消シ去ッテ、又新シク出發スルコトニナルノデ、何時迄經ツテモ年金ノ年數ニ達シナイト云フコトニナリマス、一時ノ苦シ紛レニ取ッテシマフト云フコトヲ成ルダケサセナイデ、後ノト合算シテ年金ニナルヤウニト云フ親心デアリマス、併シソレハ長ク廢メシマッテ、ドウモ労働者トシテ働カヌト云フヤウニナレバ、是ハ一時金ヲヤラウト云フ趣旨デスカラ、前後合算スル積リデアリマス

○男爵關義壽君 私ノ申シマシタノハサウ云フ意味モアリマスガ、養老年金ヲ貰ッテ居リマス者ガ廢メマシテ、新ラシイ職業ニ又就イテ、其ノ就イテ居ルノガ一年カ二年デセウガ、ソレガ一定ノ期間ダケ新ラシイ職業ニ就カナケレバ増加ニナラヌト云フ、サウ云フ規定ニハナツテ居ラヌノデス
○政府委員(樺貝詮三君) ドウモ私只今御答ヘシタノハ場所ヲ取り違ヘマシテ、少シ間違ヘマシタ、取消サセテ戴キタイト思ヒマスガ、是ハ前後合算スル積リデゴザイマス

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト云フコトハ分リマシタガ、サウスルト一時停止シテ後ノ新シイ職業ニ就イタ時ニハ、一月デモ二月デモ經チサヘスレバ前ト加算スルノデスカ、後ノモノハ一年カ二年經タケレバ加算シナイト云フコトニナッテ居ルノデスカ

○政府委員(樺貝詮三君) ソレハ兩方加ヘルノデアリマス、停止致シマスノハ、成ルベク年金ニナルヤウニ、一時金ヲ取ッテシマヒマスト、其ノ分ダケ消シ去ッテ、又新シク出發スルコトニナルノデ、何時迄經ツテモ年金ノ年數ニ達シナイト云フコトニナリマス、一時ノ苦シ紛レニ取ッテシマフト云フコトヲ成ルダケサセナイデ、後ノト合算シテ年金ニナルヤウニト云フ親心デアリマス、併シソレハ長ク廢メシマッテ、ドウモ労働者トシテ働カヌト云フヤウニナレバ、是ハ一時金ヲヤラウト云フ趣旨デスカラ、前後合算スル積リデアリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケレドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ直グ十億、二十億、三十億、八十億ト斯ウナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒマスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコトハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノメタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト云フコトハ分リマシタガ、サウスルト一時停止シテ後ノ新シイ職業ニ就イタ時ニハ、一月デモ二月デモ經チサヘスレバ前ト加算スルノデスカ、後ノモノハ一年カ二年經タケレバ加算シナイト云フコトニナッテ居ルノデスカ

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケレドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ直グ十億、二十億、三十億、八十億ト斯ウナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒマスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコトハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケレドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ直グ十億、二十億、三十億、八十億ト斯ウナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒマスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコトハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケレドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ直グ十億、二十億、三十億、八十億トス

ウナ間接ノ點カラスウナッテ居リマス、此ノ制度ノ運用ハドウ云フ風ニ爲サイマスカ、郵便貯

金デスカ、簡易保險私ニ一番初メニ創立委員会ニナツテ居リマスカ、毎年報告モ戴クノ

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ

來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒ

マスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ

堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ

養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益

ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、

一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居

ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウ

ナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總

テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、

大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生

命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ

一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後

ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計

算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコ

トハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老

年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云

フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ

……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ

來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒ

マスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ

堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ

養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益

ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、

一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居

ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウ

ナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總

テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、

大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生

命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ

一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後

ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計

算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコ

トハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老

年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云

フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ

……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ

來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒ

マスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ

堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ

養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益

ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、

一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居

ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウ

ナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總

テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、

大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生

命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ

一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後

ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計

算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコ

トハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老

年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云

フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ

……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ

來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒ

マスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ

堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ

養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益

ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、

一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居

ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウ

ナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總

テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、

大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生

命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ

一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後

ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計

算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコ

トハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老

年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云

フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ

……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ナツテ行クノデアリマスガ、是カラ生レテ

來ル利息ナドモ大變多クナルダラウト思ヒ

マスガ、マア五十年先ハチヨット分リマセスケレドモ、丁度保險會社ノ、氣ノ利イダ

堅實ナモノハ養老年金ト申シマスカ、或ハ

養老保險ト申シマスカ、サウ云フノニ、利益

ノ配當ヲ付ケテ居ルヤウナノガアリマスネ、

一萬圓掛ケテ居ル者ナラバ二十年掛ケ居

ルト、ウマク死ナナイデ受取ルト云フヤウ

ナ時ニハ、六千圓ナリ、七千圓ナリノ……總

テガサウデモナイカモ知レマセヌケレドモ、

大抵ガサウヤッテ居リマセウネ、積立金ヲ何億モ持ツテ居リマスカラ……日本生

命トカ云フ大キナヤツニナリマス、ナカカ

一萬圓掛ケマシテモ十年、二十年後

ニナルト一萬二三千圓吳レルト云フ計

算ヲシテ居ルヤウデアリマス、サウ云フコ

トハ考ヘマセナンダカト云フコト、是ハ養老

年金バカリデハアリマセヌガ、加算ト云

フモノガアリマシタカラ氣付キマシタガ

……續イテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

ス、今一度目ニ勞働ニ就キマスト、ソレカラ給料ヲ貰ッテ参リマスノデ、ソレデ此ノ

メタ場合ニハ、前ノ養老年金ヲ加算スルト

イ額ニ合算スルト云フコトニナリマス、二

年ヲ超エマスト、其ノ一年ニ付テ百分ノ

ト云フコトニナリマス

○田所美治君 逐條的デモゴザイマセヌケ

レドモ、一ツ伺ッテ置キマスガ、年金ノ分

ダケデモゴザイマセヌケレドモ、積立金ハ

直グ十億、二十億、三十億、八十億トスウ

ガ出来ルト云フ規定デアリマス、併シ實際問題トシテハ其ノ極メテ程度ノ高イ、而モ療養ニ關スル指揮ニ從ハヌ時ト云フヤウニ、非常ニ明瞭ナ場合ニミ考ヘラレルノデアリマシテ、一切ノサウ云フ場合ニ此ノ規定ヲ活用シヨウト云フ譯デハナインデアリマス

○子爵水野勝邦君 能ク分リマシタガ、サウ云フ風ニ之ヲ廣範圍ニ解釋サレマスト、大抵ノ場合ハ簡単ニ君、用心シタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ注告ヲ受ケル、併シ自分トシテハマダ働ケルト云フ氣持デ仕事ニ從事スルダラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ指揮ニ從ハナカツタ云フヤウナコトガ言ヘラナイヤウニ……今伺ヒマシテハッキリ致シマシタ

○委員長(公爵島津忠承君) 次ニ第七節福社施設、第五十六條迄

○子爵水野勝邦君 先程之ニ付テ實際ニマダ方法ハ立ツテ居ナイガ、案トシテハ是々ダト云フコトヲ伺ヒマシタガ、是モ或程度發表ヲサレテ置カレタ方ガ、此ノ年金ノ法律ヲ出サレタ趣旨ヲ一般ニ理解サセル上ニハ意味ガアルコトデヤナイカト思ハレマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(権兵詮三君) 誠ニ御説ノ通りデアリマス、サウシテ、又大體ニ於テ運用ニ依ッテ餘剩ヲ生ゼシムル積リデ居リマスカラ、此ノ福祉施設ヲヤルコトモ事實デアリマス、先程具體的ニ出來テ居ラスガト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、實ハ大體ノ「プラン」へ出來テ居リマスノデ、唯是ハドウセ、此ノ法律ノ實施準備ハ直チニ本年カラヤツテ参リマスガ、實施シテ給付シテ参リマ

スノハ來年ニ廻リマスノデ、サウナツテデナケレバ、是ハ實行シテ行ケナイ性質ノモノ

デゴザイマスカラ、其ノ間ニモウ少シ細部ヲ練ラウト云フ考ガアリマスダケデ、之ヲヤツテ行キマスコトダケハ事實デアリマス、

従ツテ之ヲ世間ニ發表スルコトモ宜イグラウト思シテ居リマスガ、唯福祉施設ヲヤルト云フコトダケハ今日迄申シテ參リマシタケレドモ、ドレヲドウスルカト云フ具體的ノモノヲツイ發表シテ居リマセヌガ、ソレハサウ云フ事情ノ爲ニ致サナカツタノデアリマシテ、今ノ御意見ハ誠ニ全然私共ノ考ヘテ居リマスコト同様デゴザイマス

○委員長(公爵島津忠承君) 次ニ移リマス、第四章費用ノ負擔第五十七條ヨリ第六十一條迄ヲ議題ニ付シマス

○田所美治君 此ノ國庫ガ事務ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔スト云フノハ、ソレハ此ノ間承リマシタガ、何十年後ニハ五千萬圓ニナルト云フ、アレハ國庫支出デアリマシタカ、此ノ事務ノ執行ト云フノハ段々殖エテ参リマセウガ、大シタモノハゴザイマセスカ、ドノ位ニ是ハ初メカラナル譯デスカ、其ノ表ヲ戴イテ居リマスカシラ……

○政府委員(権兵詮三君) 是ハ全ク御説ノ通リマシテ、茲ニ斯ウ云フムヅカシイ規定ヲ置キ、制度ヲ認メテ居リマスケレドモ、實際ハ審査ノ請求ナドハ非常ニ少イノ

デアリマシテ、他ノ方デモ健康保険ノコトニ付キマシテ此ノ間此ノ席デ申上ゲタ筈デアリマスガ、ソレデモ非常ニ少クゴザイマス、此ノ年金ニ付テモサウ多クハナイト思ヒマスガ、最後ノ途トシテ、矢張リ政府ノ方デ考ヘテ居ルコトト、勞働者方面ナドデ考ヘテ居ルコトトノ間ニ、根本ノ考ヘ方ノ

ヒマスガ、喰違ヒナドガアリマシテ、ドウモドウシヤウモナイト云フ部分ガアル譯デアリマス、其ノ場合ニハ公平ナ、事業ナンカニ關係ナ即チ五十七條ニ書イテ居リマス十分ノ二竝ニ十分ノ一、此ノ負擔額デアリマス、ソレカラ其ノ外ニ事務費ヲ支出致シマスガ、十六年度ハ實施ノ準備ヲ致スノデアリマシテ、

アリマス、其ノ金額ハ百十五萬七千餘圓デアリマス、之ヲ實際ニ實施致シマス十七年度以降ノ經費ハ、勿論是ヨリ殖エマス、

事務費ハ、給付ニ對スル國庫負擔ト別ニ豫算ニ組ンデ居ル譯デアリマス

○子爵水野勝邦君 第五章ノ全般的ノコトデアリマスガ、此ノ年金保險ノ對象ニナル人達ノコトカラ考ヘマシテ、斯ウ云フ手續ヤ訴訟ナドノ問題ハ出來ルダケ簡便ノ方法、又迅速ナ處置ヲ執ツテ、平タク

トデアリマスガ、此ノ年金保險ノ對象ニナル人達ノコトカラ考ヘマシテ、斯ウ云フ手續ヤ訴訟ナドノ問題ハ出來ルダケ簡便ノ方法、又迅速ナ處置ヲ執ツテ、平タク

トデアリマスガ、此ノ年金保險ノ對象ニナル人達ノコトカラ考ヘマシテ、斯ウ云フ手續ヤ訴訟ナドノ問題ハ出來ルダケ簡便ノ方法、又迅速ナ處置ヲ執ツテ、平タク

トデアリマスガ、此ノ年金保險ノ對象ニナル人達ノコトカラ考ヘマシテ、斯ウ云フ手續ヤ訴訟ナドノ問題ハ出來ルダケ簡便ノ方法、又迅速ナ處置ヲ執ツテ、平タク

決ヲ每件ニ付キマシテヤツテ行ク積リデ居リマス

○子爵水野勝邦君 能ク分リマシタガ、事務手續等ハ一般ニハ郵便局ガ扱ヒマスカ、或ハ其ノ工場ナリ、鑛山ナリニ、専門ノ方ガオイデニナツテ扱ツテ下サルコトニナツテ居リマスカ

○政府委員(川村秀文君) 社會保險一現業機關トシテ、第一線ノ機關トシテハ、地方廳ニ健康保険課ト云フ課ガアリマシテ、其處デ一切ノ事務ヲ取扱ツテ居リマス、保険料ノ徵收等總テ健康保険課ニ於テ行フコトニナル積リデアリマス、尤モ年金保險ヲ扱フコトニ致シマスレバ健康保険課ト云フ名稱ハ或ハ變ツテ來ナケレバナラヌカト思ヒマスガ、伺ハセテ戴キタイ

○政府委員(権兵詮三君) 是ハ全ク御説ノ通リマシテ、茲ニ斯ウ云フムヅカシイ規定ヲ置キ、制度ヲ認メテ居リマスケレドモ、實際ハ審査ノ請求ナドハ非常ニ少イノ

デアリマシテ、他ノ方デモ健康保険ノコトニ付キマシテ此ノ間此ノ席デ申上ゲタ筈デアリマスガ、ソレデモ非常ニ少クゴザイマス、此ノ年金ニ付テモサウ多クハナイト思ヒマスガ、喰違ヒナドガアリマシテ、ドウモドウシヤウモナイト云フ部分ガアル譯デアリマス、其ノ場合ニハ公平ナ、事業ナンカニ關係ナ即チ五十七條ニ書イテ居リマス十分ノ二竝ニ十分ノ一、此ノ負擔額デアリマス、ソレカラ其ノ外ニ事務費ヲ支出致シマスガ、十六年度ハ實施ノ準備ヲ致スノデアリマシテ、

アリマス、其ノ金額ハ百十五萬七千餘圓デアリマス、之ヲ實際ニ實施致シマス十七年度以降ノ經費ハ、勿論是ヨリ殖エマス、

○男爵關義壽君 關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ強制加入シテ居ルノデゴザイマスカラ、非常ニ勞働者ニ向ツテ宜イコトダ、ニ納メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○政府委員(川村秀文君) 御手許ニ差上げテアリマス收支概算ノ中ニ掲ゲテアリマス、國庫ノ負擔ハ、給付ニ對スル國庫ノ負擔、即チ五十七條ニ書イテ居リマス十分ノ二竝ニ十分ノ一、此ノ負擔額デアリマス、ソレカラ其ノ外ニ事務費ヲ支出致シマスガ、十六年度ハ實施ノ準備ヲ致スノデアリマシテ、

アリマス、其ノ金額ハ百十五萬七千餘圓デアリマス、之ヲ實際ニ實施致シマス十七年度以降ノ經費ハ、勿論是ヨリ殖エマス、

○政府委員(権兵詮三君) 誠ニ御説ノ通りデアリマス、サウシテ、又大體ニ於テ運用ニ依ッテ餘剩ヲ生ゼシムル積リデ居リマスカラ、此ノ福祉施設ヲヤルコトモ事實デアリマス、先程具體的ニ出來テ居ラスガト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、實ハ大體ノ「プラン」へ出來テ居リマスノデ、唯是ハドウセ、此ノ法律ノ實施準備ハ直チニ本年カラヤツテ参リマスガ、實施シテ給付シテ参リマ

○政府委員(川村秀文君) 保険料ヲ徵收取シマスニ付テハ、事業主ガ賃金ヲ支拂ハレマス際ニ、現在ノ健康保険料ト一緒ニ差引テ事業主ガ纏メテ納メサセルノガ一番便利デアリ、労働者ニ取ッテ世話無シダト考ヘシテハマア面倒ナノハ年金デアリマス、是ハ大體年四回位ニ纏メテ、一定ノ時期ニ其ノ支拂ガ出來ルヤウニ労働者ニ便利ナ方法ヲ以テ給付シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス

マスカラ是ヨリ討論ニ移リタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

シテハマア面倒ナノハ年金デアリマス、是ハ大體年四回位ニ纏メテ、一定ノ時期ニ其ノ支拂ガ出來ルヤウニ労働者ニ便利ナ方法ヲ以テ給付シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御質問ガナイヤウデアリマスカラ次ニ移リマス、第六章罰則、第六十七條ヨリ七十條迄、ナケレバ次ニ移リマス、附則第七十一條ヨリ第六十六條迄問題ニ供シマス

○田所美治君 七十一條ノ施行期日ハ各別ニ勅令ヲ以テ定ムトアリマスガ、凡ソ是ハドウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

マスカラ是ヨリ討論ニ移リタイト思ヒマス、御異議ナイト認メマス

○政府委員(川村秀文君) 左様ナ規定ヲ設ケマシタノハ、先ツ以テ被保險者ノ調査ヲ致シマシテ、標準報酬ナドヲ決メナケレバナリマセヌノデ、法ノ一部ヲ先ニ實施シテ、サウシテ實際ノ仕事ノ全部ヲ始メマスノハ、少シ遅レテ始メル必要ガアル、ソコデ此ノ保険給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ實施致シマスノハ昭和十七年度ニナルノデアリマス、出來ル限リ早ク實施致シタイト考ヘマス、只今ノ所昭和十七年六月ニハ實施シタイト考ヘテ居リマス、處ガ其ノ他ノ規定ニ付キマシテハモット早ク實施ラシテ準備ヲ致ス必要ガアリマス、即チ本年ノ十月頃

○田所美治君 色々先輩モオイデニナルト思ヒマスガ、過日來伺ヒマシタコトニ付テ政府カラ詳細、懇篤ニ御説明下サイマシテ有難ウゴザイマシタ、素人ニモ大體分ッタヤウナ氣持ガ致シマス、船員保險法ガウマク行ツテ、健康保険法モ實施後大分日ヲ經テ居リマス、其ノ成績等ニ鑑ミ、進ンデ此ノ時局ニ年金法ヲ御出しニナリ、其ノ目的ハ差當リ時局ノ生産力擴充、労働力確保、一面ニハ労働者ノ生活及思想ノ安定ト云フヤウナ御説明ガ出テ居ルヤウデアリマス、歐羅巴ノ各國デモヤッテ居ルヤウデアリマス、又はハ必要ニ決シテ居ルコトデアリマスカラ、方法サヘウマク行キマシテ、實效ヲ擧ゲテ行クコトガ健康保険其ノ他ニ付テ確保サレテ居リマスナラバ、本案ノ制定及實行ハ結構ナコト考ヘマス、贊成致シマス、但伺ツテ見ルト是ハ工業ダケニ付テデスガ、農業、商業ニ擴充スレバマダ／＼見込ミモ立チスママイガ、其ノハッキリシタ目安ト云

云ブコトモ生ジテ來ルグラウト思フノデアリマスガ、必ズ是ハ隨分剩餘金ガ出來ルグラウト思ハレマス、工業ハ萎靡スルト云フコトハアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設、或ハ進ンデ補導ト言ヒマスト、教育施設迄オヤリニナラケレバナラヌ場合ガアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設等モ御考ニナラケレバナラヌト

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス労働者年金保険法案ハ政府提案通り可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○田所美治君 色々先輩モオイデニナルト思ヒマスガ、過日來伺ヒマシタコトニ付テ政府カラ詳細、懇篤ニ御説明下サイマシテ有難ウゴザイマシタ、素人ニモ大體分ッタヤウナ氣持ガ致シマス、船員保險法ガウマク行ツテ、健康保険法モ實施後大分日ヲ經テ居リマス、其ノ成績等ニ鑑ミ、進ンデ此ノ時局ニ年金法ヲ御出しニナリ、其ノ目的ハ差當リ時局ノ生産力擴充、労働力確保、一面ニハ労働者ノ生活及思想ノ安定ト云フヤウナ御説明ガ出テ居ルヤウデアリマス、歐羅巴ノ各國デモヤッテ居ルヤウデアリマス、又はハ必要ニ決シテ居ルコトデアリマスカラ、是ヨリ採決ヲ致シ構ナルモノト考ヘマシテ贊成ヲ表シマスナイヤウデアリマスカラ、是ヨリ採決ヲ致シ構ナルモノト考ヘマシテ贊成ヲ表シマス

○田所美治君 色々先輩モオイデニナルト思ヒマスガ、過日來伺ヒマシタコトニ付テ政府カラ詳細、懇篤ニ御説明下サイマシテ有難ウゴザイマシタ、素人ニモ大體分ッタヤウナ氣持ガ致シマス、船員保險法ガウマク行ツテ、健康保険法モ實施後大分日ヲ經テ居リマス、其ノ成績等ニ鑑ミ、進ンデ此ノ時局ニ年金法ヲ御出しニナリ、其ノ目的ハ差當リ時局ノ生産力擴充、労働力確保、一面ニハ労働者ノ生活及思想ノ安定ト云フヤウナ御説明ガ出テ居ルヤウデアリマス、歐羅巴ノ各國デモヤッテ居ルヤウデアリマス、又はハ必要ニ決シテ居ルコトデアリマスカラ、方法サヘウマク行キマシテ、實效ヲ擧ゲテ行クコトガ健康保険其ノ他ニ付テ確保サレテ居リマスナラバ、本案ノ制定及實行ハ結構ナコト考ヘマス、贊成致シマス、但伺ツテ見ルト是ハ工業ダケニ付テデスガ、農業、商業ニ擴充スレバマダ／＼見込ミモ立チスママイガ、其ノハッキリシタ目安ト云

云ブコトモ生ジテ來ルグラウト思フノデアリマスガ、必ズ是ハ隨分剩餘金ガ出來ルグラウト思ハレマス、工業ハ萎靡スルト云フコトハアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設、或ハ進ンデ補導ト言ヒマスト、教育施設迄オヤリニナラケレバナラヌ場合ガアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設等モ御考ニナラケレバナラヌト

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス労働者年金保険法案ハ政府提案通り可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス、尙明日ハ午前十時ヨリ開會致シタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シス

出席者左ノ如シ

委員長 公爵島津 忠承君
副委員長 子爵舟橋 清賢君
委員 侯爵四條 隆徳君
伯爵樺山 愛輔君
子爵水野 勝邦君
男爵小池 吉田 茂君
男爵關 義壽君
健男君

○田所美治君 色々先輩モオイデニナルト思ヒマスガ、過日來伺ヒマシタコトニ付テ政府カラ詳細、懇篤ニ御説明下サイマシテ有難ウゴザイマシタ、素人ニモ大體分ッタヤウナ氣持ガ致シマス、船員保險法ガウマク行ツテ、健康保険法モ實施後大分日ヲ經テ居リマス、其ノ成績等ニ鑑ミ、進ンデ此ノ時局ニ年金法ヲ御出しニナリ、其ノ目的ハ差當リ時局ノ生産力擴充、労働力確保、一面ニハ労働者ノ生活及思想ノ安定ト云フヤウナ御説明ガ出テ居ルヤウデアリマス、歐羅巴ノ各國デモヤッテ居ルヤウデアリマス、又はハ必要ニ決シテ居ルコトデアリマスカラ、方法サヘウマク行キマシテ、實效ヲ擧ゲテ行クコトガ健康保険其ノ他ニ付テ確保サレテ居リマスナラバ、本案ノ制定及實行ハ結構ナコト考ヘマス、贊成致シマス、但伺ツテ見ルト是ハ工業ダケニ付テデスガ、農業、商業ニ擴充スレバマダ／＼見込ミモ立チスママイガ、其ノハッキリシタ目安ト云

云ブコトモ生ジテ來ルグラウト思フノデアリマスガ、必ズ是ハ隨分剩餘金ガ出來ルグラウト思ハレマス、工業ハ萎靡スルト云フコトハアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設、或ハ進ンデ補導ト言ヒマスト、教育施設迄オヤリニナラケレバナラヌ場合ガアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設等モ御考ニナラケレバナラヌト

○田所美治君 色々先輩モオイデニナルト思ヒマスガ、過日來伺ヒマシタコトニ付テ政府カラ詳細、懇篤ニ御説明下サイマシテ有難ウゴザイマシタ、素人ニモ大體分ッタヤウナ氣持ガ致シマス、船員保險法ガウマク行ツテ、健康保険法モ實施後大分日ヲ經テ居リマス、其ノ成績等ニ鑑ミ、進ンデ此ノ時局ニ年金法ヲ御出しニナリ、其ノ目的ハ差當リ時局ノ生産力擴充、労働力確保、一面ニハ労働者ノ生活及思想ノ安定ト云フヤウナ御説明ガ出テ居ルヤウデアリマス、歐羅巴ノ各國デモヤッテ居ルヤウデアリマス、又はハ必要ニ決シテ居ルコトデアリマスカラ、方法サヘウマク行キマシテ、實效ヲ擧ゲテ行クコトガ健康保険其ノ他ニ付テ確保サレテ居リマスナラバ、本案ノ制定及實行ハ結構ナコト考ヘマス、贊成致シマス、但伺ツテ見ルト是ハ工業ダケニ付テデスガ、農業、商業ニ擴充スレバマダ／＼見込ミモ立チスママイガ、其ノハッキリシタ目安ト云

云ブコトモ生ジテ來ルグラウト思フノデアリマスガ、必ズ是ハ隨分剩餘金ガ出來ルグラウト思ハレマス、工業ハ萎靡スルト云フコトハアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設、或ハ進ンデ補導ト言ヒマスト、教育施設迄オヤリニナラケレバナラヌ場合ガアルカモ知レナイ、社會救濟ノ方ノ側ニ於テノ施設等モ御考ニナラケレバナラヌト

國務大臣	遠藤 田所 藤沼 庄平君	中川 柳作君 美治君 望君
政府委員		
厚生大臣	名取 熊谷三太郎君	忠愛君
厚生書記官	岩田 三史君	佐々木嘉太郎君
保險院長官	金光	
保險院總務局長	藤野 吉武	
保險院社會保險局長	樋貝 惠市君	
保險院書記官	證三君	
教學局長官	惠君	
厚生書記官	秀文君	
保險院總務局長	清司君	
保險院社會保險局長	木村	
保險院書記官	誠君	
教學局長官	惠君	

昭和十六年二月二十二日印刷

昭和十六年二月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局